

5-11歳の新型コロナワクチンについて

—新潟県医師会としての見解—

新潟県医師会

監修：新潟大学小児科学教室

2022年2月14日までの
データに基づいて作成

新型コロナワクチン接種について



1回目
0.2mL

3週間

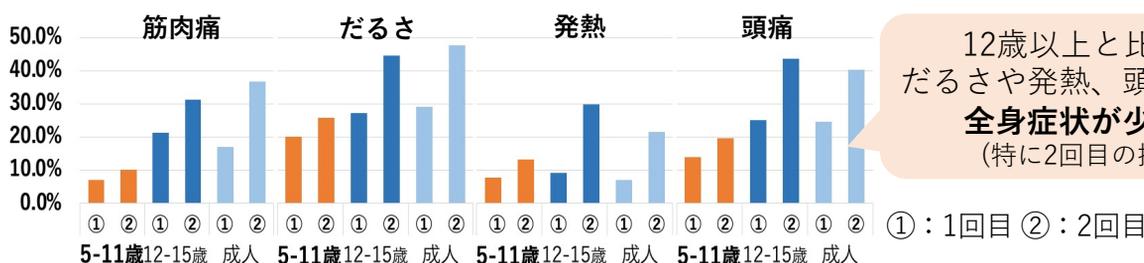
2回目
0.2mL

5-11歳はファイザー製ワクチンを2回接種します

- 他の種類のワクチンとは前後2週間以上間隔を空けて接種します
- 同時接種はできません

新型コロナワクチンの5-11歳に対する安全性について

5-11歳の子どもの新型コロナワクチンの副反応は、12-15歳の子どもや成人よりも頻度が低いです。（米国データ）



12歳以上と比べてだるさや発熱、頭痛などの全身症状が少ない（特に2回目の接種）

5-11歳の子どもの新型コロナワクチンによる心筋炎の頻度はまれです。

新潟県の5-11歳の人口は約11万7千人ですので、全員に接種しても、0.2-0.4人程度の発生率です。

mRNAワクチンの仕組みについて

詳しく解説しています

こちらのマンガをぜひご参照ください

新潟大学小児科学教室がマンガで解説しています



QRコードをスマホで読み込んで下さい

新型コロナワクチンの有効性について

現時点でワクチンはこのウイルスの感染や重症化に対する唯一の積極的な予防手段です。

- **基礎疾患のあるお子さん**には、速やかな接種をお勧めします。
- **健康なお子さん**には、子ども自身を守ること、家族や友達など周囲の人々への感染を広げるリスクを減らすこと、園・学校などでの継続した教育の機会を確保できる可能性を高めることが期待できます。

3月から接種開始予定ですので、現在流行中の変異ウイルスに対してだけではなく、これから流行するかもしれない新しい変異ウイルスに対する予防にもなります。現時点で、このワクチンの感染予防と重症化予防の効果については、子どもの十分なデータがそろっていませんが、これまでの大人と年齢の高い子どものデータなどを参考にすると、ある程度の効果が期待できると考えています。この年齢の子どものほとんどが無症状か軽症ですが、子どもの感染者の増加に伴い、一定の割合で重症化したり、後遺症を残したりするお子さんが増える可能性があります。

ご家族でよく話し合い、お子さんが納得した上で接種することをお勧めします。

『5-11歳の新型コロナワクチンについて』
でより詳しく解説しています。
是非そちらもご参照ください。

